

知床世界自然遺産地域管理計画の見直しについて

(1) 全体構成の見直し【資料 3-2 参照】

- ・遺産管理計画は、保護制度や関連計画等に基づいた管理方針を共有することが大きな目的の一つであるため、国内の最新の管理計画（奄美・琉球）を参考に、管理の目標と基本方針を柱とした構成に再整理
- ・管理の目標（5.）では、長期モニタリング計画とも整合を図って具体的な目標と評価項目を明示するとともに、長期モニタリング及び総合評価により管理計画の目標の達成状況等を評価し、必要な見直しを行っていくことにより、PDCA による順応的管理を実現
- ・管理の基本方針（6.）では、保護制度や関連計画等の一覧を示すとともに、関連計画等で掲げられている基本方針や具体的な目標のうち、遺産管理の基本方針となるものについては、遺産管理計画にも記載（個別の管理方策は、関連計画又は関連事業にて対応）
- ・第1期長期モニタリング総合評価の結果に基づき、遺産の価値と現状（4.）を追加
- ・気候変動への対応についても、記載の充実化を図る
- ・現行計画の記載項目は、内容を精査の上、必要なものを引き続き盛り込む

(2) 今後の流れ

- ①地域連絡会議、科学委員会及び WG/AP にて、具体的な改定内容を確認し、改定（案）を作成
- ②パブリックコメント及び斜里町・羅臼町での地元説明会を実施
- ③上記②の結果を踏まえ、地域連絡会議及び科学委員会にて最終案を確認
- ④関係行政機関での協議を経て改定完了